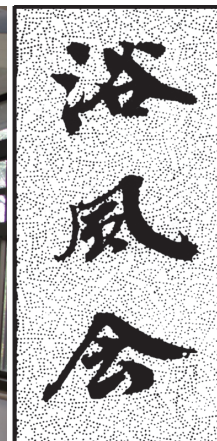


令和 2 年 4 月 1 日付新規採用者 (30 名) の記念撮影



4 月号

令和 2 年 4 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 発行責任者 京極 高宣
 T E L (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufukai.or.jp/>
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

令和 2 年度事業の実施にあたって

専務理事 江波戸 一敏



浴風会内の桜も今を盛りと咲き誇り、職場にいながらお花見気分・・・と、いつも春ならこれでよいのだろうが、今年は新型コロナウイルス感染症の流行があつて、社会全体がその対応に追われている状況にある。当会でも、職員個々の体調管理の徹底はもちろん、衛生材料の確保、面会制限、コミュニティホールの貸出停止などの措置が講じられている。お陰で大事に至らずに済んではいるが、しばらくは油断することなく当該リスク管理を最重要課題の一つとして位置づけ、取り組んでいくこととしたい。

一方、世界的な感染拡大を受けて、オリンピック・パラリンピックの一年程度の延期が発表された。関係各方面に大きな影響を及ぼすことになるが、選手や観客などの安心、安全を思えばやむを得ない決定なのであろう。この時期の延期に落胆の度合いが大きい方々も多くいらつしやると思うが、上手く仕切り直しができるような願うばかりである。

さて、浴風会の令和 2 年度は、今年度から令和 6 年度までを期間として策定した中期事業計画を念頭に、この計画の初年に相応しい事業展開を図ることとし、次のような事柄を重点として取り組むこととしている。

1 地域との協働と社会貢献... 職場体験活動等の積極的受入れ、カフェ事業等による高齢者の居場所づくりの実施 等

2 利用者中心のサービスの提供・在宅支援機能(訪問診療、訪問リハ、訪問看護等)の充実、自立支援・重度化防止に資するサービスの推進 等

3 専門職の連携を活かした職場づくり・法人の特長を活かした採用活動の実施、働き方改革への的確な対応 等

4 着実な事業実施のための

経営基盤づくり... 予算執行管理の徹底とコスト意識の向上等による堅実な財務運営基盤の形成、各法人組織の活性化等による機能の充実、先端テクノロジー活用による各事業部門の成長・革新 等

取組みの様子は、この会誌などを通じてお知らせできるような努めていきたいが、皆様からも、当会に対するご意見・ご要望などお寄せいただければ幸いである。なお、中期事業計画については、今後とも安定した経営のもとで、職員が一丸となつて法人の役割を果たしていくために策定した将来見通しであるが、その内容については、今後、当会ホームページなどでお知らせしたい。

浴風会は、令和 7 年 1 月に法人創立 100 周年を迎えることとなる。先ずはそれまでの間、『地域と共に未来を拓く』ために懸命に働き、皆様の期待に応えていきたい。

自分らしく、 生き甲斐を持って

業務執行理事・浴風園長
小室 清吾



浴風会の老人福祉事業は、養護老人ホームの浴風園、軽費老人ホームの松風園・ケアハウスの三施設に約五百名の方が入居されています。一〇一歳の方を最高齢に大正生まれの方は四二名で、平均年齢も八〇歳を超えています。お元気な方が大半ですが、加齢とともに身体機能も低下し、精神的支援の必要な方も多くなっています。

体力や考え方は一人ひとり様々で、自分の役割・居場所も様々です。毎朝の落ち葉掃き、草花のお手入れ、園内清掃、食器洗い等のボランティア活動をされている方、読書や手芸、書道・陶芸・カラオケ等クラブ活動等を楽しまれている方、卓球・テニス等のスポーツや筋力トレーニングに励んでいる方、又、歩けるようになりたいと転倒予防の体操を続けている方等一人ひとりが自分らしく、それぞれに応じた役割・居場所を見つけています。

お互いの違いを認め合い、思いやり競い合うことなく、自分らしく生き甲斐を持って「明るく楽しく元氣よく」過ごしていただけるよう、全職員が一丸となって多職種協働で支援に努めてまいります。

また、ご利用者の知識・特技を活かした料理教室等の地域展開の活動も更に拡充してまいりますので、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で、如何に当たり前の日常が幸せか痛感させられました。無事終息し、東京オリンピック・パラリンピックで世界中が一つになつてはきれんばかりの笑顔と活気が満ち溢れんことを祈るばかりです。

新年度の スタートにあたって

業務執行理事・南陽園長
植木 雄治



令和 2 年度は介護報酬改定にとつては間の年となる一方で、21 年度における報酬改定が決まる年でもあります。3 月 16 日から介護給付費分科会では議論がスタートし、12 月には基本的な考え方の整理・とりまとめが行われる事になります。議論は①地域包括ケアシステムの推進 ②自立支援・重度化防止の推進 ③介護人材の確保・介護現場の革新 ④制度の安定性・持続可能性の確保の 4 つの柱で進められることになります。

介護保険制度もスタートして 20 年が経過して、財源の不足と介護人材の不足という 2 つの「不足」に直面して、何らかの解が求められるステージになつてきているのでしよう。

新型コロナウイルスの感染拡大に対して、軽症者に在宅療養が求められたのは医療システムの機能停止を危惧して、災害医療におけるトリアージに近い対応が行われた表れでしょう。医療も福祉もこうした功利主義的な側面がある事は否定出来ません。もちろんこれが全てというわけでも決してありません。軽度の要介護者が福祉サービスから引き剥がされていけば、家庭の機能が大きく損なわれ社会のひずみを起こしかねません。求めるサービスとその負担については社会全体で考えていくべき問題です。

今年度介護保険事業では、助成金活用を視野に入れながら、ICT 活用促進に向けて一層取り組んでいきます。それでも施設におけるサービスを支えるのはやはり人であり、介護人材の確保と育成に引き続き取り組んでまいります。

新型コロナウイルス

業務執行理事・病院長
伊藤 嘉憲



ちょうど 1 年前、新しい元号が令和と発表され、多くの国民は人々が美しく心を寄せ合う平和な時代を思い描いていました。そして令和 2 年を迎え、東京オリンピック・パラリンピック開催の機運が盛り上がりとしていたその矢先、わずか 2 ヶ月足らずの間に世界が今のようなショック状態に陥ることを誰が想像したでしょうか。

中国に端を発した新型コロナウイルスは、その強い感染力により、瞬く間に世界各国に拡大し、パンデミックの様相を呈しています。幸いにして、我が国では今のところ爆発的な感染拡大（オーバーシュート）は生じておらず、重症患者の急増による医療崩壊を免れています。おそらく、国民皆保険制度を基盤とした高い医療水準、衛生意識の向上、そしてイベント自粛などの効果的な対策によるところが大きいと思われます。

しかし、このウイルスの感染が終息するまでにはさらに長期間を要すると予測されています。感染しても大半の人は軽症で済むとはいえ、高齢者や基礎疾患を持つ方、およびそのご家族は不安な毎日を経過されていることと思います。多くのご高齢の患者様が入院されている当院では、ウイルスの外部からの侵入・感染が生じないよう、最大限の対策をとっております。現在、ご面会は原則としてご遠慮いただくとともに、患者様をはじめ全ての入館者にマスク着用、手指消毒をお願いしております。皆様方にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地域共生社会に向けて
着実な前進を業務執行理事・
地域サービス部長
遠藤 雅晴

今地域では、町会や自治会などの互助の力が弱まり、単身世帯や高齢者のみ世帯の急速な増加とともに、社会的孤立が広がっていると言われています。

そうした中で、住民自身が地域の課題を把握し、居場所づくりや健康づくりなどを通して、「お互いさま」の気持ちで支え合える地域共生社会をつくっていかねばなりません。浴風会は、住民と共に、地域共生社会づくりを推進します。

地域社会の最前線に立つ地域サービス部は、各部門がそれぞれの重点目標と具体的な計画を持って、令和 2 年度事業に積極的に取り組んでまいります。

先ずケア 24 高井戸は、地域ケア会議の活用、医療・介護の連携、認知症支援体制の充実、生活支援体制の整備などを着実に進めます。

次に、居宅介護支援事業所は、地域ケア会議等を通じて多職種連携を踏まえたケアマネ業務の充実を図り、適切なケアプランを作成します。

また、ヘルパーステーションは、利用者ニーズに対応した介護保険サービスを提供するとともに、介護保険外のサービス等についても積極的に実施します。

そして区内 11 か所のシルバークリア（高齢者集合住宅）の相談事業は、LSA が高齢者の見守りや相談を通じて、安全安心な在宅生活を支援します。

さらによくふう保育園では、保育受託事業者である上水保育園と連携し、職員の子育て支援の充実を図るとともに、地域の保育需要にも柔軟に対応して安定した経営を確保します。

新年度も、地域サービス部の各事業を、どうぞよろしくお願いいたします。

認知症の「共生と予防」

業務執行理事
認知症介護研究・研修
東京センター長 山口 晴保

昨年 6 月に発表された認知症施策推進大綱では、「共生と予防」が主要項目として示されました。共生は、認知症があっても地域に受け入れられ、役割を持って、安寧に暮らせる地域共生社会づくりです。東京センターが進めてきた認知症地域支援推進員研修をさらに充実させ、全国の市町村に質の高い推進員が配置され、地域共生社会を支えるネットワーク構築をめざしています。また、「認知症の人の生活安寧指標」や「地域包括型認知症ケアパス」は普及が課題です。

予防には、認知症の発症予防だけでなく、なつてからの進行遅延（三次予防）や、「行動・心理症状（BPSD）の発症予防」も含まれます。認知症の人の生活障害へのケアや BPSD を予防するケアの研究をさらに進め、施策に貢献します。そして、研究成果は、D C net や、東京センターが立ち上げたウェーブジャーナル「認知症ケア研究誌」にて報告します。

今年度は、インターネットに接続する各種センサー（IOT）からの情報を AI で分析して認知症ケアに活かす研究にも本格的に取り組む予定です。

東京センターは、日本における認知症ケア研究の中心的役割を果たすべく、スタッフの心を合わせて、社会に貢献します。



中庭で遊ぶ園児たち

浴風会の動き (3月)



本館前の桜

【本部事務局】

25日 「第6回理事会」開催。「元年度第2次収支補正予算」、「2年度事業計画及び収支予算」、「中期事業計画」、「施設長人事」について承認されました。

26日 「春季彼岸法要」新型コロナウイルス感染症予防の為開催中止。

31日 「定年退職者辞令交付式(対象12名)」開催。(浅井)

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

定期的に開催しております、「よくふう語ろう会」と「Cafeオレンジリボンウッド」は、新型コロナウイルスの影響で、休止いたしました。引き続き4月も休止とさせていただきます。次回は5月に再開予定です。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

4日 「クラブ作品展示会」を開催。

陶芸・絵手紙クラブの方々や、個人の皆様による作品が、大ホールを華やかに彩りました。作品展示会は、例年二日間行っております。しかし

今年は、新型コロナウイルスの影響で、残念ながら規模を縮小し、一日だけの開催となりました。また、皆様お友達と一緒に話を弾ませながらご覧いただくことは感染拡大防止の観点からできませんでした。来年はぜひ通常通り開催できるよう、皆様と職員が力を合わせて感染症対策に力を入れたと思います。(阿南)



松風園 (軽費老人ホーム)

3日 「ひな祭り」開催。今年は玄関口にひな人形と桃の花、かわいらしい吊るし雛を廊下に飾りま

した。3日の昼食にはちらし寿司と桜餅を召し上がって桃の節句を楽しんでいただきました。



(宮中)

浴風会ケアハウス

3日 「ひな祭りバイキング」開催。握り寿司食べ放題でした。

23日 「歩こう会」で、高井戸駅〜神田川のお花見をしました。風が冷たい日でしたが18名の参加で、桜をバックに良い写真も撮れました。

感染症対策にて、誕生会を延期・カフェケアハウスを中止しました。機能訓練等は実施しています。

来年度から、ケアハウスご利用者向けに、ヨガ教室、簡単体操、手芸の新しい活動を始めます。(尾滝)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

3日 「ひな祭り」を開催。各フロアに飾られたひな壇の前には大勢のご利用者が集まり、ひな祭りの唄を歌われたり、ひな祭りにまつわる昔話に花を咲かせました。



3月は新型コロナウイルスの影響で、散歩に行く機会が減りましたが、カラオケ大会など室内でのレクリエーションを楽しんでいます。

今年度もボランティアさんのご協力のもと、たくさんの方のクラブ活動を行うことが出来ました。来年度も引き続きよろしく願ひ致します。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

新型コロナウイルス感染が拡大していますが、デイサービスのご利用者は、元気に活動に参加してくださっています。

時勢柄外出が難しいため、満開の桜を想像しながら、折り紙で桜と富士山の貼り絵を作成しました。一つ一つの花びらを、ハサミで切り取ったり、くるつと丸めて花を作ったりと真剣なまなざしで取り組んでいらっしゃいました。



完成した作品をデイサービスの壁に飾り、みなさんと少し早いお花見を楽しんでいただきました。(鶴間)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

◎電話 03-3334-2743 (鶴間・工藤)

第二南陽園

(特別養護老人ホーム)

3日 「ひな祭り」。玄関に飾られたひな壇の前で記念撮影をされ、昼食にはちらし寿司を頂きました。

25日 「クッキング★カフェ」で3種の野菜を使ったクッキーを作りました。玉ねぎのクッキーは、「どんな味になるか想像できないわ」と楽しみにしながら作られていました。

3月は各フロアでお楽しみ会を行っ

ています。1 階では夕食時に居酒屋を
行い、午後から仕込みをご利用者と一
緒に行い好評でした。(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

21 日 「フラワーアレンジメント」を
開催。造花を美しく活けるには、生花
とはまた違ったセンスが求められるよ
うです。

25 日 暖かくなってきたため、短時間
ではありますが園庭の散歩を実施しま
した。(限本)

★見学申し込みやデイサービスへの質問
やお問い合わせは随時受け付けています。

◎ 03—3334—2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

3 日 「ひなまつり」開催。今年度も各
フロアに 7 段飾りの立派なひな人形を
飾らせていただきました。ご利用者の
方々は「もう桃の節句なのね。本当に
きれいなお顔!」と一緒に記念撮影を
したり、昔話に花を咲かせていました。
昼食には海老や錦糸卵をのせた春色に
ゆめんをご用意し、季節を感じてい
ただきました。

16 日 「防災訓練」実施。園では毎月
職員による防災訓練を実施していま
す。3 月は夜間帯に火災が発生した想
定で訓練を行いました。日中と違い人

が少ない中で、災害時にご利用者の命
を守るためにどのような行動を取るべ
きか。参加した職員は緊張した雰囲気
の中、訓練を行いました。ご利用者が
安心して生活できるように今後も様々
な場面を想定して訓練を実施していま
ります。(佐々木)

グループホームひまわり

3 日 「ひな祭り」。可
愛いお雛様を飾り、記
念撮影をしたり昔話に
花を咲かせました。

19 日 「お彼岸」。ぼた
餅作りをしました。ご利用者の皆様の
餡子やきなこをく
るむ手さばきは見
事でした。緑茶と
一緒に美味しく頂
きました。



23 日 「お花見週間」。園庭へお花
見に何度も出かけました。満開の桜を
見て「きれいなね。
空も青くてすば
らしいわ。」と会
話が弾み、桜を
バックに記念撮
影しました。



(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

新型コロナウイルス感染症発生に伴
い、杉並区内のイベント・講演会等が
中止になりました。ケア24高井戸でも
年 1 回開催予定の『地域のことを考え
る会』(仮称)が、3 月 3 日に開催予
定でしたが、残念ながら開催できず、
令和元年度が終わりました。しかし、
地域では着々と居場所づくりを目的と
した『上高井戸端』プロジェクトが動
いています。早く皆様にも周知できる
日をめざしメンバーの皆さんと一緒に
月 1 回集まり、準備を進めています。

早くこの状況が終息し、新たな地域
の居場所ができるのを楽しみにしてい
て下さい。(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

◎ 電話 03—3334—2495

【病院事業】

浴風会病院

先月より浴風会病院では、入院治療
中の患者様への新型コロナウイルス感
染を防止するため、入退院などの手続
きが必要な場合や、病状説明・容体の
変化などの説明を医師や看護師から受
ける場合、また着替え・日用品などを
患者様にお届けの場合などを除き、面

会を原則禁止とさせていただいており
ます。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒
ご理解とご協力をお願い申し上げます。
(中澤)

◎ 予約電話 浴風会病院
03—3332—6511 (代表)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

25 日 デイケアでは「ひな祭り」
の行事を行いました。手作りの冠を作
ったり、ひな祭りにちなんだおやつ
の提供がありました。

23 日 施設内で花見に出かけまし
た。

新型コロナウイルス感染予防対策と
して、面会の制限を行っております。
またボランティア等によるクラブや行
事も中止しておりますのでご了承ください。
(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイで利
用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎ 03—5336—7701 (代表)

◎ 03—5336—7734 (入所)

◎ 03—5336—7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

2 日 東京センター運営会議
コロナウイルスの影響で会議等は中
止となりました。(富島)



浴風会病院～認知症疾患医療センターってどんなところ？～

精神保健福祉士 村松 はるみ

「認知症疾患医療センター」は認知症の方とご家族が住み慣れた地域で安心して生活していただくために東京都が指定した病院に設置するもので、浴風会病院は平成 24 年に指定を受け活動を開始しています。認知症疾患医療センターの主な役割は以下の通りです。

◎専門医療機関としての役割

精神保健福祉士等専門相談員が認知症に関する相談を受け付けています。疑問や不安、困りごとなど、どうぞ遠慮なくご相談下さい。

受診を希望される方には、ご家族を対象にした「認知症相談」とご本人を対象にした「もの忘れ外来」の二つのコースをご案内しています（右下の図をご参照下さい）。

昨年度からは家族介護教室を開催し、介護にあたるご家族への支援の充実に努めています。また、区からの要請を受けて対応が困難な認知症の方に対して医師等専門職が訪問するアウトリーチ事業も行っています。

◎地域連携の推進機関としての役割

認知症疾患医療センターは単体で認知症の諸課題に取り組んでいるわけではありません。地域の各機関（区、医師会、地域包括支援センター等）と連携・協議しながら認知症の方が住みやすい地域作り、システム作りを進めています。

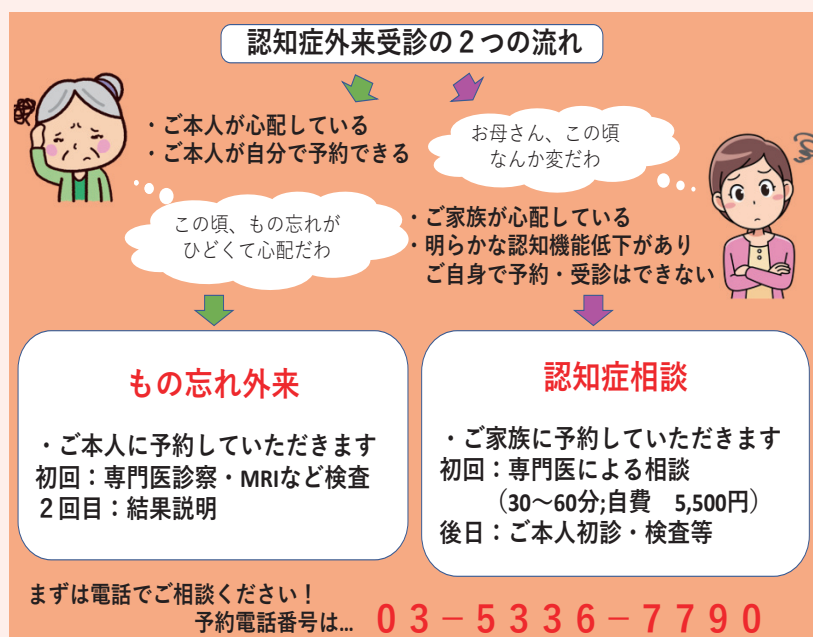
◎人材育成機関としての役割

認知症疾患医療センターは、医療従事者向けの各種研修を開催しています。

- ・かかりつけ医認知症対応力向上研修（年 3 回）
- ・看護師認知症対応力向上研修（年 4 回）

また地域連携を支える人材の育成も行っており、昨年度は地域包括支援センターの皆さんを対象に研修会を開催しました。

これからも、浴風会病院認知症疾患医療センターは、認知症の方の尊厳を守り、どんなに症状が進んでもその人らしい生き方ができる社会を目指して努めてまいります。



お知らせ

厚生労働省の通知等に基づく、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、浴風会病院及び各施設におきましては面会の制限等を行っております。詳しくは各施設等へお問い合わせください。

ご芳志

令和 2 年 2 月 16 日から 3 月 15 日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様、山崎 清様、角張 文子様、
東京都社会福祉協議会 東京善意銀行様
●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

<https://www.yokufukai.or.jp/>

この度、浴風会ホームページがリニューアル致しましたので、ご覧ください。